

総合型選抜対策講座②

文教大学国際学部国際観光学科

(課題遂行型出願向け)
調査・分析の進め方について

2024年7月14日 (日)



教員紹介

青木 洋高（博士：観光学）

yaoki@bunkyo.ac.jp

・株式会社ジェイティービー・株式会社JTBパブリッシングで

22年間、旅行ガイドブックの編集や広告業務、ご当地グルメ開発、自治体プロモーション等に従事。

・北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士後期課程修了

研究テーマ

フードツーリズム・地域プロモーション・食文化

現在は、「食」を通じた地域の魅力づくりに取り組む。

対策講座（１）～（３）の予定

6月23日（日）：（１）テーマの選び方・取り組み方

7月14日（日）：（２）調査・分析の進め方

8月18日（日）：（３）レポートの書き方・まとめ方・

試験当日対策

総合型選抜とは…

書類審査、口頭試問、課題等によって、入学者の能力・適正、学修に対する意欲・目的意識等を総合的に判定する入試のこと。

①課題遂行型

試験日

1期:10月13日(日)
2期:12月1日(日)

②資格優先型

試験日

1期:10月13日(日)
2期:12月1日(日)



アドミッション・ポリシーとは？

求める学生像

【国際観光学科】

1. 旅行、宿泊、交通などの観光ビジネスや地域づくりに関心を持ち、国際観光を通じて社会に貢献したいという意欲を持つ人
2. 基礎的なコミュニケーション能力を有している人
3. 国際観光や地域づくりにかかわった経験がある人



学んできてほしい内容

【国際観光学科】

1. 世界の地理歴史、政治経済、文化、言語に関する基礎知識
2. 自分の考えをまとめ相手に伝えるための思考力や表現力
3. 観光や地域にかかわる体験や学習経験

総合型選抜の出願資格として、アドミッション・ポリシーに賛同していただくことが前提となります。

〈選考方法〉

書類審査、事前課題（レポートおよびプレゼンテーション資料）、当日のプレゼンテーション、グループディスカッションの内容をもとに、総合的に評価します。



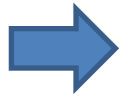
この入試では、国際学部でリーダーとして活躍してくれる人、
社会に出て活躍してくれる人を求めています！

注意

1期と2期では事前課題の内容が異なります！

課題遂行型1期の課題内容について

課題選定
(テーマ選び)



調査・データ収集



レポート提出・発表

大学生に求められる基礎的能力の
レベルアップ!

【OCでの総合型選抜(課題遂行型1期) 対策講座スケジュール】

6月23日 (日) : テーマの選び方、取り組み方

7月14日 (日) : 調査・分析の進め方

👉 本日はココをやります

8月 18日 (日) : レポートの書き方&当日試験対策

合格までのスケジュールと準備(課題遂行型1期)

7・8月

9月

テーマの設定

リサーチ・資料集め

分析・レポート作成

プレゼンテーション準備

9月1日(日)～9日(月)

出願期間

9月20日(金)～27日(金)

レポート提出期間

10月

11月

10月13日(日) 試験日

* 予備日10月12日(土)

11月1日(金)

合格発表



今日のコンテンツ

- 調査について
- 資料収集について
- 分析について

Q.なぜ調査・分析が必要なのか？



設定した課題を解決する方法を
客観的な視点で提案するため

例) 訪日外国人は日本での観光
に満足しているのか？

＊はじめに大まかなテーマ（課題）を決めてから
調査の計画を練ることをおすすめします！

調査および資料収集のポイント

1) 調査のポイント

- 自分でテーマを設定し、その問題解決に向け、実際の調査内容や、適切な資料を見つける
- 現状や状況を把握し、正確に分析する

2) 資料収集のポイント

- 客観的な資料を用いて、分析すること
- 分析結果を用いて、問題への解決策や手段についての自分の主張を裏付けること

1. 調査について



1. インタビュー調査・アンケート調査
2. 既存のデータの分析

- ・調査を行う対象者へ事前にお願いと、訪問の約束をする
(大学入試で発表する調査に対する協力のお願い)
- ・あらかじめ質問事項を用意しておく
- ・観光庁などの白書のデータや、民間企業が実施したアンケート調査のデータなどを入手

1. 事前に訪問する場所について、よく調べておく
2. 何を見てくるのか、何を調べてくるのかを明確にしてから出かける
3. 「何のための調査なのか（目的）」を再度確認
4. 調査風景や調査地がわかるような写真を撮る
5. あまり遠方に行くのではなく、何度も行ける場所を選んでおいたほうが便利

1. 誰の意見を集めたいのかターゲットを決める
2. アンケートはA 4 で1枚程度にし、「自由に書いてください」と質問するのではなく、「はい、いいえ」や「5段階評価で○を付ける」といった質問の方が答えてもらいやすい
3. アンケート調査は、「知らないことを教えてもらおう」のではなく、あくまで相手の考えを尋ねる、という姿勢で取り組む
4. インタビューで自分の思っていたことと異なる回答を得ても、反論しない

2. 資料収集について



1. 図書館
2. インターネット

1. 個人の「ブログ」や「ウィキペディア」は使わない
2. どのデータを集めれば良いのか、をまず考える
3. データの出典を明らかにする
4. 集めたデータを説明しただけ、にならない

1. 「白書」や「統計資料」

例：開発協力白書、国際観光白書、環境白書、経済白書等

2. 雑誌や新聞記事

例：新聞社が出版している雑誌や過去の新聞記事等
記事掲載の日付が必要

3. 専門的な本

例：環境問題、社会問題、観光産業に関するものなど、様々なテーマに関連した専門書籍

- 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>
- 国土交通省 観光庁
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/index.html>
- 日本政府観光局（J N T O）
http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/index.html
- 経済産業省
<http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>

他にも、国や県など行政機関のＨＰで統計資料を見ることができます。

1. キーワードを複数入力してみる 例：「海外 食料 輸入」
2. なるべく「出所」がシッカリしているデータを活用すること
3. 様々なキーワードを入れてみる



Google 海外 食料 輸入

すべて 画像 ニュース ショッピング 地図 もっと見る ▼ 検索ツール

約 640,000 件 (0.62 秒)

農林水産省/(1)世界の食料事情と農産物貿易交渉 イ 我が国の農産物 ...

 www.maff.go.jp/wp/wpaper/w_maff/h18_h/trend/1/t1_1_1_02.html ▼

我が国の農産物輸入は、円高の進展や世界的な貿易自由化の流れのなか、国内の食料需要の増大、食生活の多様化の進展等を背景に、量・量ともに大きく変化を伴いながら増加し、2005年には4兆7,922億円、2006年には過去最高となる5兆411億円に達して ...

食品を輸入して販売したい | 食品営業はじめてナビ - 東京都福祉保健局

 www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/eigyounavi/import/ ▼

このページを見てほしい方。例えば ... 海外の知り合いから食品を購入して、国内で販売したい；手荷物で持ち込める量だけ食品を輸入して販売したい；インターネットで海外のサイトから食品を輸入して販売したい。など ...

これは楽しい！外国のスーパーマーケット気分になれる輸入食品店5選 ...

 retrip.jp > エリア一覧 > アジア > 日本 > 関東地方 > 東京 ▼

2015/09/15 - ... 大きさ・商品数・カラフルさ全てが日本のスーパーの5倍くらいありますよ！海外旅行では必ず現地のスーパーでのお買い物を楽しみたい方も多いと思います。今日は日本でもそんな外国の商品が手に入る「輸入食品店」をご紹介します！

3. 分析について



課題文

グローバル化の道を歩んできた日本の観光を今後も発展させていくための方法と課題について、根拠となる資料を用いて具体的に提案してください。提案にあたっては各自でテーマを設定し、その概要を説明し、**【課題作成のポイント】**を参考に論じてください。



- ✓ その方法を提案する理由が明確に述べられているか
- ✓ その方法が有効だと思う根拠についてデータが示されているか



考えるポイント①テーマを考える

1. 皆さんの考える日本の観光の発展の姿・あり方とはどのようなものでしょうか。
2. その姿・あり方に近づけるには、どのような課題があり、それを解決する方法はどのようなものがあるでしょうか。
3. 皆さんは、なぜその方法が妥当であると思うのか、その理由や根拠を示す資料を用意しましょう。



考えるポイント②具体的なテーマにする

例：外国人観光客に対し、日本に来てから、より高い満足感を得られるようにすることが、今後の訪日観光の発展につながる

1. 単に「訪日外国人観光客」を増やす方法を提案するのではなく、日本に来てからの観光客の満足度を上げることが大切
2. その国の人は日本でどのようなことができれば満足できるのか
3. その方法が妥当であるとするために、その理由や根拠を示す資料を用意する

その課題を得るにあたっての根拠を示し、そのための解決策の根拠となるデータを得なければ解決策の提案は出せません。そのためには「調査」が必要です。

課題の根拠を示す
その課題の解決方法を考える

解決方法の根拠となるデータを得る



同じような「事例」を調べ、どのような取り組みや解決方法が採られているかを理解する。

それらをヒントにしながら、自分で設定した課題に関する解決方法を探る。

そのデータによって、自分が解決策として提案したい内容が示せるかどうかを判断する

課題：国際観光学科

訪日外国人観光客の日本での満足度の向上が、今後の訪日観光の発展につながる



訪日外国人観光客の日本での不満とはなんだろう？



不満に関する調査結果を調べる
不満の1つに着目する



その不満を解決できれば、訪日外国人観光客は、日本での観光への満足度が高まるのか

ここで、調査

訪日外国人観光客*名へインタビューした結果、その不満はとても大きいものであり、それが解決できれば、日本での観光がより満足できると回答を得た！

課題：国際観光学科

調査・資料収集してみよう！

Q. 訪日観光客の日本での不満はなんだろう？

⇒外国人旅行者の日本の受入環境に対する不便・不満

■令和元年度「訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート」調査結果

（出典：観光庁

https://www.mlit.go.jp/kankocho/news08_000322.html）

⇒特に困ったポイントをいくつか絞る

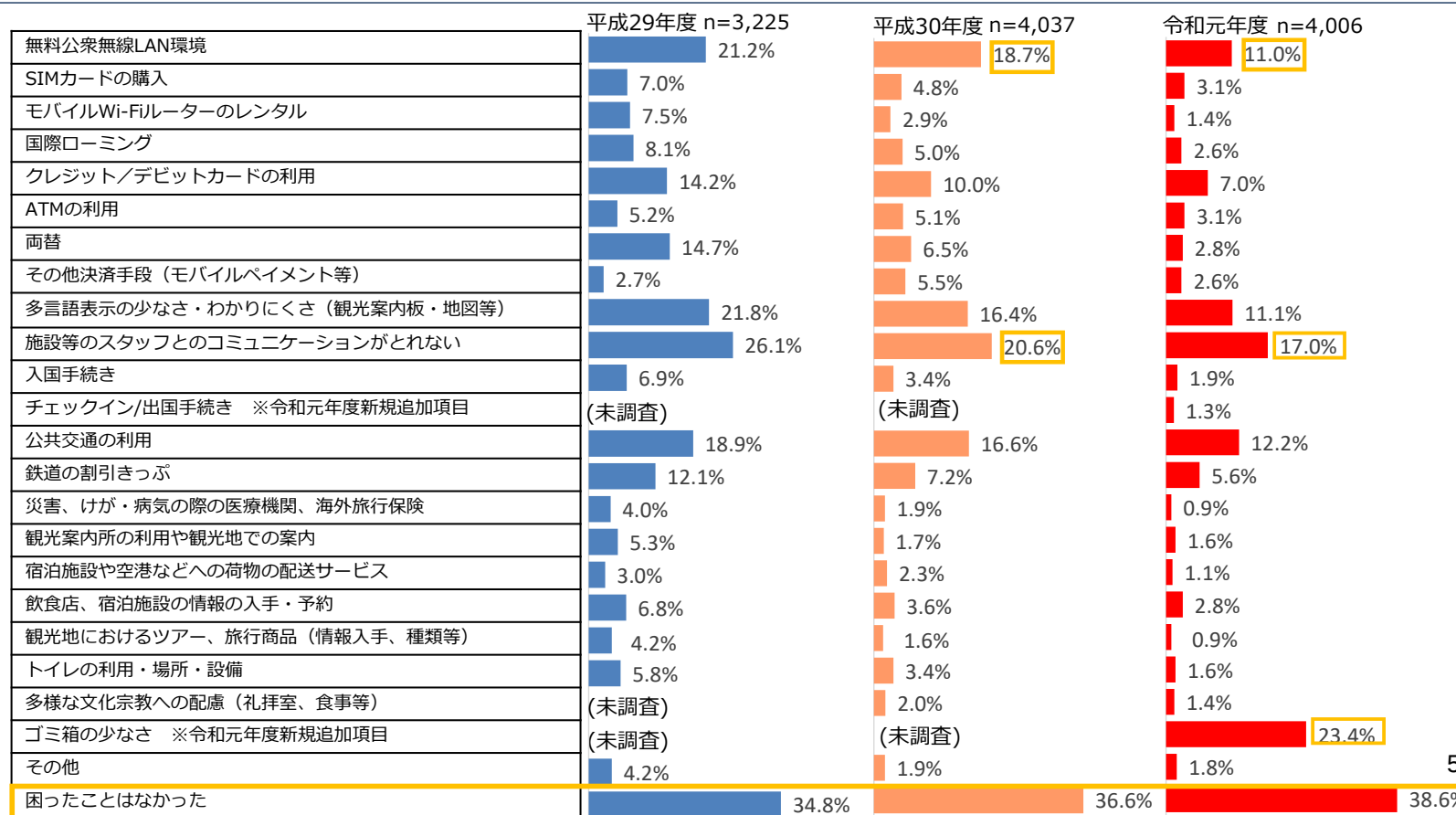
⇒その不満が実際の外国人観光客にとってその通りなのか、実情を調べよう！

課題：国際観光学科

調査結果 1. 訪日旅行中に全体を通して困ったこと 3 か年比較



- 訪日旅行中全体を通して「困ったことはなかった」と回答した割合が過去最高の38.6%となり、継続調査している受入環境に関する各項目全てにおいても「困った」と回答した割合が減少した。
- 個別項目では従前から困った割合が高かった「施設等のスタッフとのコミュニケーション」は前年比3.6%減、「無料公衆無線LAN環境」は同7.7%減となったほか、今年度新たに調査項目に追加した「ゴミ箱の少なさ」が、23.4%と旅行中困ったことの第1位となった。



1. 困った点に着目
→ 多言語表示がなくて、公共交通機関が使えない
2. これが本当なのか、実情を調べる
(アンケート？インタビュー？新聞記事？)
→ 外国人に多言語表示があって欲しいと思った経験があるかどうかインタビューする
3. 数値化、集めた意見、もしくは事実としての記事、をまとめる
→ バス停で待つ外国人にインタビューを5人に行った結果、皆、言葉が日本語ばかりで理解がしにくい、と不満を持っており、これが改善されれば、訪日旅行はもっと楽で楽しくなると言っていた！
4. 自分が課題としていた、外国人観光客の不満は本当であり、この改善策に取り組んでいけば、より訪日外国人が日本での観光に満足し、それが評価として広まり、訪日外国人がもっと増えるだろう

課題解決策の提案

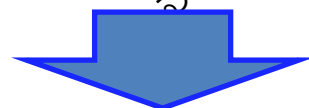
地域を決め、公共交通機関の電車とバスを中心とし、多言語対応について自分で調査



写真で事実を確認



何の言語が足りないか、また全く無い場合には、どんなinformationを掲載すべきか考える



上記で考えた、実際に必要とされることを提案としてまとめる



最終提案

**自分で見出した課題 + 課題を明らかにするデータ + そのデータの妥当性と実証
+ 事実在即した提案**

1. 調べたことを書いただけ、にならないこと
2. 「調査に基づく提案」が必要
3. それを裏付けるためのデータを集める、ということ
ことを忘れないように



対策講座（１）～（３）の予定

6月23日（日）：（１）テーマの選び方・取り組み方

7月14日（日）：（２）調査・分析の進め方

8月18日（日）：（３）レポートの書き方・まとめ方

課題遂行型の評価のポイント



➤ 自分の考え方が述べられているか？

「調べたこと」を書くだけではダメです。「調べたこと」に基づいて、「自分は何を考えたのか」「自分の提案」を書きましょう。

➤ 自分の考え方の根拠となる「資料」や「データ」が示されているか？

「資料」や「データ」を用意することで、自分の考え方を明確に相手に示すことができます。資料やデータを集めて提示しましょう。現地調査など、自分で集めたデータを示すことも大変効果的です！

➤ 問題・課題に対する「答え」になっているか？

問題・課題にきちんと答えているか、主張に筋が通っているのか、を確認しましょう。

➤ プレゼンテーションで自分の考えをきちんと伝えることができるか？

人前できちんと相手に対して説明ができること、人の意見（質問）をしっかりと聞いて、自分の意見を言えるかどうか、を総合的に判断します。



課題遂行型の入試課題に正解はありません。皆さんの主張に筋が通っているか、が重要です。

※本対策講座で取り上げた「外国人旅行者の日本の受入環境に対する不便・不満」の問題は、実際には、ご自身の総合型入試の課題として取り扱わないようにしてください。取り扱った場合は評価が低くなります。



合格までの スケジュールと準備



合格までのスケジュールと準備(課題遂行型1期)

7・8月

9月

テーマの設定

リサーチ・資料集め

分析・レポート作成

プレゼンテーション準備

9月1日(日)～9日(月)

出願期間

9月20日(金)～27日(金)

レポート提出期間

10月

11月

10月13日(日) 試験日

* 予備日10月12日(土)

11月1日(金)

合格発表



次回の入試（課題遂行型）

対策講座の予告



8月18日（日）の講座では

レポートの書き方・まとめ方

をお話しします。

➤次回までに、資料集めと分析を始めておくの良いと思います。



今後のOCでの入試対策講座

6月23日（日）：（1）テーマの選び方・取り組み方

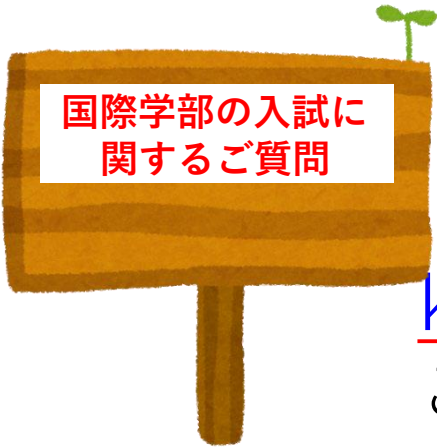
7月14日（日）：（2）調査・分析の進め方

8月18日（日）：（3）レポートの書き方・まとめ方

試験当日対策



次回



国際学部の入試に
関係するご質問

kokusai-sogo@bunkyo.ac.jp

ご相談ください

次のオープンキャンパスで
お会いしましょう。

国際学部
オリジナルHP



- * お問い合わせの際には、「**志望学科**」「**氏名**」「**高校名**」を明記してください。
- * 回答はメールを送信していただいたアドレスに返信しますので、受信制限などを解除して、文教大学からのメールを受信できるようにしておいてください。

